

減される。そのため、県では代替施設の整備や、在宅で支えていくための地域体制の構築など、地域ケア整備構想を策定していく予定であり、適切な構想となるよう県に意見を述べていく。

◇関連質問

- ・介護保険制度に係る施策の展望は (市民連合)
- ・介護保険料の軽減制度の拡充を (日本共産党)

男女共同参画社会と少子化対策 (公明党)

**問** 男女共同参画社会が実現すれば少子化対策は進展し、少子化対策が徹底されれば男女共同参画社会も前進するはずである。しかし、現実には課題があり、仕事と子育ての両立など男女共同参画社会実現の遅れが少子化対策の遅れにつながるかと考えるが、市長の考えは。

**答** 少子化が進展する中、将来にわたって持続可能な社会を維持していくためには、男女共同参画を推進することが重要である。

特に、男女が安心して子どもを産み育てることのできる環境を整



夢見るパパとママの会(子育て応援センター)

備することは、少子化対策はもとより男女共同参画の面からも有効な手立てであると考ええる。

本市においても、福山市男女共同参画基本計画に基づく諸施策の推進に努めていく。

◇関連質問

- ・子育て環境の整備など女性行政の今後の展望は (市民連合)

救急医療体制の確保 (誠友会)

**問** 最近、二次救急医療を担当する病院にさまざまな問題が発生している。当番日でも救急車の搬入を拒否することは日常茶飯事であり、特に小児の救急では、数少ない小児科医師の過重労働の問題や、患者・家族からの過剰なク

レームなどにより、輪番制から外れたいという病院もあると聞いている。市民の安心・安全確保のために、救急医療体制の見直しが必要ではないか。

**答** 小児の救急医療体制は、小児科医師の減少などにより、医師の労働が過重になってきている状況を踏まえ、参加病院の医師などとの連絡会議を開催し、小児救急医療のあり方の検討や、参加病院の事情も踏まえた当番日の決定を行うなど、体制の確保に努めている。

◇関連質問

- ・医師数抑制策の見直しを (日本共産党)

障害者低所得者と家族への対応 (市民連合)

**問** 19年度の障害者福祉の新規事業にかかわって、障害者低所得者と家族への対応はどのようになされているのか。

また、サービス利用全般についての負担軽減策はどのように考えているのか。

**答** 国の特別対策に加え、本市独自の軽減措置として、就労支援サービスの利用者負担の無料化、

保育所などをあわせて利用する児童の通園施設利用料の無料化を実施し、負担軽減を図っていく。

また、地域生活支援事業、自立支援医療、補装具の利用者負担も合算し、月額負担上限額を適用する事業を引き続き実施し、利用者負担が大きくなり過ぎないように配慮している。

◇関連質問

- ・障害者の応益負担の撤回を (日本共産党)
- ・障害者の就労支援 (誠友会)

駅前の放置自転車対策は (新政クラブ)

**問** 福山駅南有料自転車駐車場が完成したが、駅周辺の不法駐輪はいまだに続いている。市民に、歩道を歩行移動区域として認識してもらおうと同時に、協力してもらわなければならない。また、一方では、必要なだけの駐輪場の確保が必要であるが、現状の収容可能な台数と今後の対策は。

**答** 現在、JR福山駅周辺に7カ所の自転車駐車場を設置しており、3600台が収容可能である。19年度は自転車等放置禁止区域